



労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団のご紹介

ワーカーズコープは、働く人々や市民がみんなで出資し、経営に参加し、民主的に事業を運営する協同組合です。意見を出し合い、話し合いながら、新しい仕事づくりや地域活動に挑戦し、協同労働を通じて「ともに生き、ともに働く」社会を築き、誰もが安心して暮らせるまちづくりを目指しています。

組織概要:

センター事業団は 1982 年に日本労働者協同組合連合会(当時は「中高年雇用・福祉事業団全国協議会」)の直轄事業として出発。1987 年に、現在のセンター事業団に組織再編し、日本における労働者協同組合づくりの運動に挑戦してきました。

委託事業から始まった事業は、高齢者介護、公共施設の管理・運営、子育て支援、就労支援などに拡大。現在、全国に 20 の事業本部・開発本部を持ち、約 400 の事業所で約 10,000 人が就労しており、事業高は約 224 億円に達しています。

出資について:

協同組合では、組合員が出し合った出資金が事業の元手となります。センター事業団では、1 口 5 万円の出資で組合員になることができます。

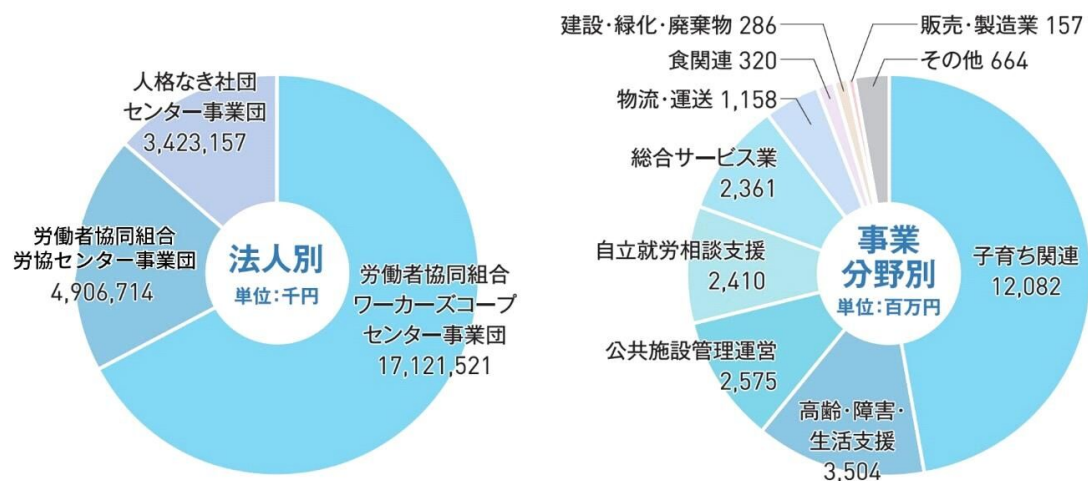
法人格について:

長らく日本には「労働者協同組合」を定めた法律がなかったため、ワーカーズコープは任意団体(人格なき社団)として活動していました。

しかし、公的制度を利用した仕事を起こす際に法人格が必要となり、「企業組合労協センター事業団」と「特定非営利活動法人ワーカーズコープ」の法人格を取得して活動していました。

2020 年に「労働者協同組合法」が成立し、2023 年に「特定非営利活動法人ワーカーズコープ」が「労働者協同組合 ワーカーズコープ・センター事業団」へ法人移行。2024 年には「企業組合労協センター事業団」も「労働者協同組合 労協センター事業団」へ法人移行しました。

◇事業高（2022年度実績）



◇業務形態

	日本労働者協同組合連合会センター事業団		
名称・法人格	労働者協同組合 ワークスコープ センター事業団	労働者協同組合 労協センター事業団	人格なき社団 センター事業団
設立年月日	2001年9月13日	1973年2月23日	1987年12月13日
主な業務内容	子育て事業・自立就労相談支援・ 公共施設管理運営等	高齢・障害・ 生活支援関連等	建物総合管理・ 緑化・物流等
出資金	2億3,640万円	9,260万円	27億4,032万円
2022年度事業実績	171億2,152万円	49億0,671万円	34億2,315万円
代表者	平 本 哲 男		
組合員数	5,008人	1,606人	1,308人